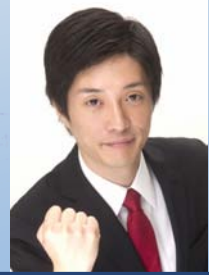


真木レポート

第9号（平成25年12月定例会報告）



メール dai@makidaisuke.jp 電話/FAX 048-234-8435 郵便 大字新曽1057-803

一般質問①

安全

土のうステーションの設置を



▲市役所敷地内の土のう置き場：災害時、土のうを利用するには申し込みが必要でした。



▲図書館に新たに設置された緊急土のうステーション：土のうを自由に取り出せます！

昨年の9月と10月の2回の大型台風襲来により、市内の多くの箇所が冠水被害に遭いました。

冠水に対して個人でできる一番の対策は、自宅等の敷地に土のうを積んで雨水の侵入を防ぐことなのですが、現状では市民への土のうの周知は徹底されておらず、冠水が予想される際には、土のうを市役所まで取りに行き、また使用後は各自で処分しなければならぬなど、行政の体制は整備されておられません。

そこで、土のうの出し入れが自由な「土のうステーション」の設置と、行政からの情報提供について提案しました。市からは「設置は可能」との答弁を頂き、早速4月には市内7か所に「土のうステーション」が設置されました。（※詳細は次号レポートにて）

今後、行政がインフラ整備による冠水対策を進めていくべきことはもちろんですが、それに併せて、土のうの活用による市民自らの冠水対策が促進されていくことを期待します。

一般質問②

子育て

子供たちへの学習支援を



▲学童保育室での宿題の時間：ひとりで宿題をこなせない児童がいるようですが、現在、学習支援を行う制度はありません。

- ・絵本を読み聞かせた
- ・本や新聞を勧める
- ・一緒に図書館へ行く
- ・朝食と生活習慣
- ・ゲーム時間を限定
- ・学習習慣と校則遵守
- ・ニュース、勉強や成績、進路の話題
- ・親の行事参加
- ・勉強しなさいとうるさく言わない

▲学力に良い影響を与える「子供との関わり方」のうち、家庭の背景とは無関係のもの

本年3月、文科省により、子供たちの学力に影響を与える要因についての詳細な研究結果が、日本で初めて発表されました。

結果を見ると、やはり家庭の社会的背景（家庭所得と両親の学歴）、そのなかでも塾への支出と学力とには強い相関関係があることが確かめられましたが、一方で、放課後等を利用した公的な学習サポートが有効であることも示されました。

学力格差の拡大が懸念されるいま、塾に行けない子供たちや、家庭の学習環境に恵まれない子供たち、また子供の勉強を見てあげられない家庭への支援はますます必要となっています。

そこで私は、学習支援策の一つとしてまず、学童保育室における学習支援ボランティアの受け入れを提案しました。市からは、「大変有意義なことである」との前向きな答弁を頂きました。

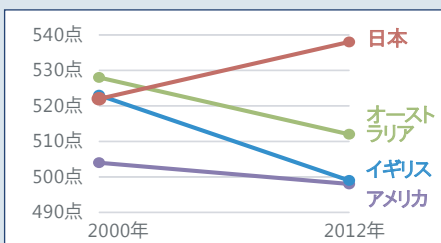
今後、子供たちへの学習支援策についての調査研究を深め、戸田市の学力格差の改善に努めていきたいと考えています。

学力テストの学校別成績公表

SCHOOL PERFORMANCE TABLES FOR GCSES AND A-LEVELS

Number of schools in the school year	Rank within LEA for GCSEs	Rank within LEA for A-Levels	% of pupils achieving 5 or more GCSEs at grade C or above	% of pupils achieving 3 or more A-Levels at grade B or above	Average GCSE grade per pupil	Average A-Level grade per pupil	Rank within LEA for GCSEs	Rank within LEA for A-Levels
CAMBRIDGESHIRE								
Abbey College, Cambridge	6	17%	43	314.8	0%	n/a	936.3	6
Abbey College, Ramsey	212	54%	31	445.9	10%	983.2	737.1	16
Bassingbourn Village College	138	68%	21	430.1	29%	980.8	n/a	n/a
Bescheved School, Cambridge	8	63%	27	275.8	50%	n/a	853.3	20
Bellbarys College Cambridge	13	0%	44	157.0	0%	n/a	958.3	5
Bottisham Village College	212	67%	17	445.0	41%	1008.8	n/a	n/a

▲イングランドの学校別成績表：全国の学校の成績が教育省により公表され、その後マスコミによって学校が順位付けされます。



▲PISA(国際学力テスト)における読解力の経年変化：日本(先進国で1位)の学力は伸びているのに対し、学校別成績を公表している国の学力は低下しています。

今年度から、全国学力テストにおける「学校別」の成績を公表することが、自治体(教育委員会)の判断により可能となりました。

私は、公表には否定的です。理由は、「学校別公表により、公教育の崩壊と国全体の学力低下を招きかねないから」です。

イギリスやアメリカなどの諸外国では10年以上前から、学力向上の国策として学校別成績を公表し、合わせて「学校選択制」「予算配分」「民営化」を推し進めることで、学校間の競争を促してきました。その結果、学校間の格差は拡大し、「地域の子供たちに均等な教育機会を与える」という公教育の機能は失われ、さらには、当初の目的に反し、国全体の学力は下がりました。

保護者にとって子供の学校の成績を知りたいのは当然ですが、安易な公表は日本の公教育全体の質を低下させてしまいます。

もちろん、地域間の学力格差の是正は重要な課題です。しかし、格差是正のために必要なのは、教育委員会や学校・家庭・地域の方々の努力であって、競争を煽る市場原理ではありません。

議場では、学校別成績公表についての上記の意見を詳細に述べました。8月には今年度分の全国学力テストの結果が出ますが、その際の学校別成績公表に関して、現在戸田市は「検討中」です。

上記の一般質問のほかに、3件の質疑(＝予算案や条例案等に対する公開質問)を行いました。

質疑① 「戸田市職員互助会に関する条例の一部を改正する条例」について

Q. 職員互助会への補助金を廃止する目的とそれに至る経緯は？

A. 補助金の減額を行う自治体の増加、行政改革の推進、住民の理解が得られる適正な事業実施、という観点から助成金を廃止すべきとの結論に至った。

質疑② 「戸田市学童保育室条例の一部を改正する条例」について

Q. 指定管理者制度(※)の導入を見据えているのは、どの学童保育室か？

A. 2015年4月に開設予定のこどもの国の学童保育室2室での導入を検討している。

Q. 既存の公立学童保育室の管理運営主体を、指定管理者に切りかえる予定は？

A. サービス向上に向けて、効率的・効果的な運営方法を検討していく中で考えていく。

(※)指定管理者制度＝事業運営と施設管理をまるごと民間事業者等に委託する制度。

質疑③ 「戸田市立児童センター条例の一部を改正する条例」について

Q. こどもの国に整備予定の「児童センター」「学童保育室2室」「保育園」のそれぞれの管理運営形態は？

A. 民間事業者一社による一括管理運営を考えている。

Q. 事業者の選定はどのように行う予定か？

A. 公募を行い、金額・実績・提案内容・専門性を考慮して適切な事業者を選定したい。



◆管理運営を行う事業者によって、戸田市のシンボル「こどもの国」の命運が左右されると言っても過言ではありません。私は、民間の活力を取り入れ、子供の連続的な発達に対応した一体的な管理運営委託を行う点を評価する一方で、事業者の選定には慎重を期する必要があると考えます。そこで、私の会派(戸田の会)では、「広く公募を行い、選定基準や選定過程はできる限り公開すること」を委員会等で要望しました。(※公募期間は4/7～5/20)

報告1

図書館 X'mas イベントを開催しました



(上)講演風景 (下)とだっ子のハンドベル演奏

去る12月21日(土)、私の所属する文教・建設常任委員会が主催し、戸田市立図書館でのクリスマスイベントを開催しました。

演出家である花井裕一郎氏(まちとしょテラソ前館長)による「また来たいと思わせる場のつくりかた」と題した講演会や、図書館ロビーでの演奏会、福祉作業施設によるコーヒー・お菓子販売を行いました。

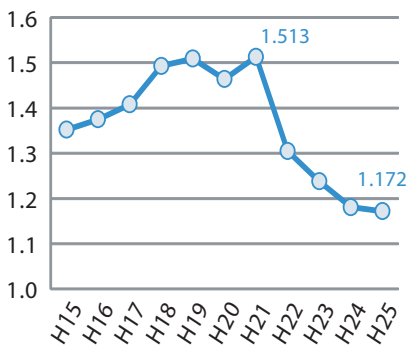
多くの方々にお越しいただき、“単なる貸本屋”としてではない“人の集うコミュニティ空間”としての図書館の可能性を感じ取っていただけたのではないかと考えています。

また、参加者から頂いたご意見をこれからの図書館運営に活かしていただけるよう、教育委員会にアンケート結果を提出しました。

今後も委員会で一丸となり、図書館の改善に取り組んでいきます。

報告2

戸田市の財政について



▲戸田市の財政力指数(単年度)の推移：
財政基盤の強さを表す「財政力指数」が1.0を割り込むと、自立した財政運営のできない「交付団体」となってしまいます。

埼玉県内で比較した場合に戸田市が財政的に恵まれているのは事実ですが、決して今後の財政見通しが明るいわけではありません。

主な理由は、①**競艇配分金の減少**：ピーク時に約50億円あった競艇からの配分金は、現在約3億円です(戸田市の一般会計予算は約500億円)。また今後、戸田市からの持ち出しが生じることも想定されます。②**市税収入の停滞**：人口の増加に関わらず、個人所得の減少等により、市税収入はここ8年近く横ばいです。③**公共施設の更新費用**：今後、老朽化した公共施設の更新が集中し、年間約100億円の費用が掛かると試算されています。④**扶助費の増加**：児童や高齢者、障害者、生活困窮者への福祉を維持する経費(＝扶助費)は、ここ5年間で約67億円から約130億円と急激に増加しています。

より一層、将来を見据えた“選択と集中”の市政運営が必要です。

報告3

友好都市リバプール市との交流事業



(上)授業風景 (下)リバプール市長との懇談

昨年10月、戸田市の友好都市であるオーストラリアのリバプール市との交流事業に、議会を代表して参加させていただきました。

リバプール市では、市長や副市長、議員などからの歓迎を頂き、種々の意見を交わして親睦を深め、懸案事項であった「東日本大震災以来中止されている、中学生海外交流派遣事業の再開」について前向きな回答を頂くことができました。また、リバプール市長(32歳!)にも、戸田市への訪問に対する関心を抱いていただきました。

他にも、リバプール市の小中学校や図書館などへの視察、およびオーストラリアの文化に触れることで多くの事を学ばせていただきました。今後の活動によって、戸田市政に還元していきたいと思います。

市内において「自転車レーン(自転車専用通行帯)」の本格的な整備が始まりました。ここ数年、自転車レーンの整備は、戸田市に限らず全国の先進自治体を中心として着々と進められています。では、自転車レーンの設置にはどのような効用があるのでしょうか？今回は、いくつかの効用のうち、「安全面での効用」について解説します。



▲市内の自転車レーン：歩道は歩行者、車道左側は自転車、車道中央はクルマ。3者で道路を「シェア」する気持ちが必要です。

効用1 歩行者が守られる

歩道ではなく自転車レーン上を自転車が走行することで、歩行者や車イス・ベビーカーなどの交通弱者が、自転車との接触事故から守られます。(※近年、歩行者と自転車との接触事故が増えており、その際の自転車側に課される高額賠償が社会問題化しています。)

効用2 自転車同士がすれ違わない

自転車レーンは左側走行が義務です。それにより、自転車同士のすれ違いによって起こる対面衝突事故は無くなります。

効用3 クルマと互いに気付きやすい

あまり知られていませんが、自転車とクルマとの事故の約7割は「交差点」で発生しています。また、その原因の多くは、クルマの操作ミスではなく「認知ミス」であることが分かっています。

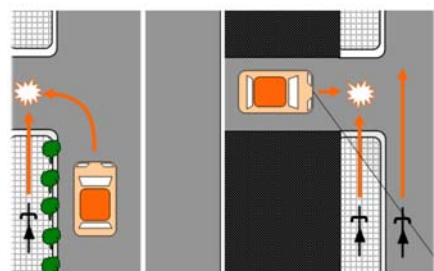
自転車レーンの設置により、以下の2点が徹底されます。

①自転車が車道走行すること(左の図説を参照)

②自転車が左側走行すること(※次号レポートで説明)

これによって、クルマと自転車は互いの存在に気付きやすくなり、「交差点」での出会い頭事故は大きく減少します。

私たちは自転車で歩道を通行する方が「安心」であると感じていますが、実は車道を走行する方が結果的に「安全」なのです。多くのデータから示されているこの事実は、既に先進国では常識となっています。



▲自転車の歩道通行による危険性：

(左図) 植樹帯や電柱、ガードレール等によって互いに相手を認識しづらくなり、巻き込み事故につながる。

(右図) 建物や塀等に遮られることで互いに死角が大きくなり、飛び出し事故につながる。

※『じゃあ自転車はどう走るか』より引用

助しました。自転車の専門家らしい意見が聞け、勉強になります」と真木市議員の安全な環境の創設を通して市民と議会と行政の新たな街づくりが



高橋さんらの案内で完成した自転車レーンを視察する真木大輔議員(左端)と花井伸子議員(左から2人目)

▲戸田市の自転車レーンと市民の方々の活動が「CSR マガジン」に取り上げられました。

真木大輔(まきだいすけ)

戸田市議会議員(1期目)、政党無所属(党籍・党歴なし)
会派「戸田の会」副代表、文教・建設常任委員会など

プロフィール

「和を以て貴しとなす」

茨城県日立市出身、32歳

水戸第一高等学校卒業

東京大学教養学部卒業

同大学院駒場素粒子論中退

講師業(予備校講師)など

菅原文仁県議会議員に師事

4大政策

「戸田の未来をつくるために」

教育 自立し協力し合える力を

子育て 子育てしやすい社会に

行財政改革 長期展望を持って

安全 日常生活も防災も

市政に関するご意見は、[メール・SNS](#)等にてお気軽にお寄せ下さい